

溶融スラグ品質事例(1/2)コンクリート用溶融スラグ骨材 (JIS A 5031)

項 目		結 果	基準値	
有害物質の 含有量	鉛	mg/kg	0.2~21	150以下
	カドミウム	mg/kg	<0.1	150以下
	六価クロム	mg/kg	<5	250以下
	ひ素	mg/kg	<0.2	150以下
	総水銀	mg/kg	<0.05	15以下
	セレン	mg/kg	<0.2	150以下
	ふっ素	mg/kg	20~250	4000以下
	ほう素	mg/kg	40~350	4000以下
有害物質の 溶出量	鉛	mg/l	<0.005	0.01以下
	カドミウム	mg/l	<0.001	0,01以下
	六価クロム	mg/l	<0.01	0.05以下
	ひ素	mg/l	<0.001	0.01以下
	総水銀	mg/l	<0.0005	0.0005以下
	セレン	mg/l	<0.001	0.01以下
	ふっ素	mg/l	<0.1~0.5	0.8以下
	ほう素	mg/l	0.01~0.07	1 以下

溶融スラグの含有量・溶出量は年間を通じてJIS基準値を安定的に下回っている。

溶融スラグ品質事例(2/2)コンクリート用溶融スラグ骨材 (JIS A 5031)

項 目			結 果			基準値
化学成分	酸化カルシウム	%	34	~	41	45.0以下
	全硫黄	%	0.1	~	0.3	2.0以下
	三酸化硫黄	%		<0.1		0.5以下
	金属鉄	%	0.1	~	0.3	1.0以下
	塩化物量	%	<0.001	~	0.01	0.04以下
物理性状	絶乾密度	g/cm ³	2.67	~	2.87	2.5以上
	吸水率	%	0.12	~	1.22	3.0以下
	安定性	%	0.2	~	2.7	10以下
	粒形判定実積率	%	53	~	57.5	53以上
	微粒分量	%	1.5	~	3.2	7.0以下
粒度	10mm	%		100		100
	5mm	%		100		95~100
	2.5mm	%	99	~	100	85~100
	1.2mm	%	85	~	91	60~95
	0.6mm	%	44	~	53	30~70
	0.3mm	%	16	~	22	10~45
	0.15mm	%	5	~	8	5~20
膨張性		%	-2.51	~	-1.33	2.0以下
アルカリシリカ反応性			無害			無害

化学成分、物理性状、粒度分布、膨張性、アルカリシリカ反応性は年間を通じて安定しており、JIS基準値を十分満足している。